

平成25年度 学校評価集計結果

| | |
|---------|---|
| 実践項目 1 | 学校のホームページを月1回以上更新し、ディスカバリー新聞を周辺地域に迅速に配布する。 |
| 実践項目 2 | オープンスクールで、説明会や授業及び部活動見学を実施し、中学生に本校の魅力を発信する。 |
| 実践項目 3 | 就業体験、地域とともに心を育てる会、介護施設での活動等に全職員で取り組む。 |
| 実践項目 4 | 夏まつり、まっせまつり、遺跡まつり等の地域主催行事への積極的協力体制をつくる。 |
| 実践項目 5 | 体育祭や文化祭において、学校評議員やPTA会員を招き、30%以上の参加を達成する。 |
| 実践項目 6 | PTAの諸事業の実施に当たり、成功に向けて全職員が全面的に協力する。 |
| 実践項目 7 | 年2回の研究授業週間を行い、各教科ごとに指導法について研究を深める。 |
| 実践項目 8 | 各教科で生徒の実態に即して、年間指導計画、評価規準、シラバスの作成・改善を行う。 |
| 実践項目 9 | 少人数授業、TT授業など、生徒の興味・関心・実態に応じた授業を行う。 |
| 実践項目 10 | 適切な課題や小テストを通して、家庭学習時間の平均1時間以上を達成する。 |
| 実践項目 11 | 教科指導委員会を月1回開催し、新学習指導要領の実施に向けて取り組む。 |
| 実践項目 12 | 学校設定科目、ディスカバリー科目群について、さらに深化をはかる。 |
| 実践項目 13 | 年3回以上の生徒面談を行い、拡大学年会で共通認識を深め、生徒個々に適した生徒指導を行う。 |
| 実践項目 14 | 各学期に1回全校生徒に学校生活への意識調査を行い、生徒の悩みや不安を早期発見する。 |
| 実践項目 15 | 全職員による一致した指導体制をつくるために、生徒指導の職員研修を行う。 |
| 実践項目 16 | 特別指導を反省指導だけでなく、生徒の更なる成長の機会として多くの教師で指導していく。 |
| 実践項目 17 | 警察、補導センター、補導委員会等との連携を緊密にして、情報交換を行う。 |
| 実践項目 18 | 関係諸機関と連携して、生活の安全を守るための講演会を開催する。 |
| 実践項目 19 | 進路ガイダンスを各学年ごとに年1回以上実施し、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 |
| 実践項目 20 | 進路面談を早期より実施し、面接指導やマナー指導を繰り返し行う。 |
| 実践項目 21 | 年間を通して模擬試験等を計画的に受験させ、学力の伸長度を知らしめる。 |
| 実践項目 22 | 体験学習、インターンシップ等に積極的に参加させ、自己理解を深めさせる。 |
| 実践項目 23 | 上級学校見学会、学校説明会、オープンキャンパス等への積極的参加の啓発を行う。 |
| 実践項目 24 | 資格・検定試験を積極的に受験させ、進路意識の高揚をはかる。 |
| 実践項目 25 | 学校の諸課題について、各部主催による校内研修を年2回以上実施する。 |
| 実践項目 26 | 出張・研修等で得られた成果を職員会議等で報告し、教育活動に活かせるように全職員に還元する。 |
| 実践項目 27 | 中間評価、本評価の結果を各部・学年で検証し、次年度へ反映させるしくみをつくる。 |
| 実践項目 28 | 生徒による授業評価を年2回実施し、その評価結果を職員の授業改善に活かす。 |
| 実践項目 29 | 各分掌における重点目標を年度当初に設定し、適宜取組について評価・見直しを行う。 |
| 実践項目 30 | 機能しやすい分掌・委員会組織をつくる。 |

